

大同・オムロンが首位キープ、車体が大崎破る

～第33回日本ハンドボールリーグ第7週～

第33回日本ハンドボールリーグ第7週は愛知、長崎などで男子5試合、女子3試合が行われ、男子では開幕から6連勝中の大同特殊鋼が5勝1分で追走する湧永製薬との首位攻防戦に勝って首位をキープ。4勝1分1敗で続いていた大崎電気はトヨタ車体に惜敗し、車体とトヨタ紡織九州に抜かれて5位にランクダウンした。女子は首位のオムロンがHC名古屋を、2位の北國銀行が広島メイプルレッズをそれぞれ下し、順位の変動はなかった。

長崎での湧永－大同の首位攻防戦は、大同が岸川をケガで欠き、富田もベンチを温める布陣ながらも、厚い選手層を武器にまったくその穴を感じさせない戦いぶり。大同は湧永が見せるわずかなスキを着実に得点に結びつけ、後半10分、16－16から大田、李、千々波の3連打でわずかに接戦を抜け出した。湧永も地元・長崎で燃えたGK・志水のファインセーブや福田の3連打などで懸命に射程距離をキープして望みをつないだものの、武田の豪快な連打などで湧永の追撃を振り払った大同が27－23で制し、開幕7連勝として単独首位をキープした。

愛知での車体－大崎戦は、スタートから双方に主導権が行き交うスリリングな展開。後半8分、20－20のタイスコアから、高智、北出の連打で先手を取った車体に対し、大崎は20分、26－28と2点リードを奪われた場面から内田の連打で試合は振り出しに。さらに場内のボルテージが上がる中、地元の大声援も背にした車体は鶴谷、崎前、そして崎前、田中と勝負所で2度の連取を繰り出し、大崎から大きな1勝を奪い取った。これで車体が紡織と並んで3位。前週で3位に浮上した大崎は5位とランクダウンした。

女子は愛知でHC名古屋の挑戦を受けたオムロンが、試合開始直後から東濱、佐久川で3連取発進。その後もオムロンは3連取、4連取とテンポ良く加速していき、前半を17－7と大差で折り返した。オムロンの勢いは後半も衰えることなく、多彩な攻撃で着実にチャンスを活かしてリードを広げる展開に。佐藤、高橋（玲）らで懸命の戦いを見せる名古屋を力強く突き放し、単独首位をキープした。

前週、ソニーセミコンダクタ九州に敗れたショックが懸念された北國は、地元・石川で広島を迎えての戦い。北國は大事な立ち上がりでその悪夢を振り払うかのように上町、横嶋、野路（良）で6連取の猛攻。守護神・田代を中心としたディフェンスも安定して、広島に反撃の糸口さえ与えない試合運び。後半もリードを広げた北國が、安齋らによる広島の反撃を14点に封じ、順当に5勝目をマークした。



④開幕7連勝を飾った大同特殊鋼・千々波

⑦ソニーセミコンダクタ九州・金城が打ち込む

第8週の日程

11月1日(土)	・愛知	・大同工業大学石井記念体育館(名鉄常滑・河和線大同町駅徒歩5分)	13:00～(男)	琉球コラソン × 北陸電力
			15:00～(男)	豊田合成 × 大同特殊鋼
	・三重	・ウイングアリーナ刈谷(名鉄名古屋本線富士松駅徒歩20分)	11:00～(男)	トヨタ自動車 × 湧永製薬
			13:00～(男)	大崎電気 × H o n d a
	・熊本	・鈴鹿市立体育館(近鉄名古屋線白子駅バス「体育館前」徒歩5分)	15:00～(男)	トヨタ車体 × トヨタ紡織九州
11月2日(日)	・愛知	・山鹿市総合体育館(九州産交バス(山鹿行き)・山鹿バスセンター車10分)	14:00～(女)	三重バイオレットアイリス × 北國銀行
			13:00～(女)	オムロン × ソニーセミコンダクタ九州
		・中村スポーツセンター(地下鉄東山線中村日赤駅徒歩5分)	11:00～(男)	トヨタ紡織九州 × 湧永製薬
			13:00～(女)	H C 名 古 屋 × 広島メイプルレッズ
			15:00～(男)	大同特殊鋼 × 琉球コラソン
			11:00～(男)	H o n d a × トヨタ自動車
		・ウイングアリーナ刈谷(名鉄名古屋本線富士松駅徒歩20分)	13:15～(男)	大崎電気 × 豊田合成
			15:30～(男)	トヨタ車体 × 北陸電力



トヨタ紡織九州・中島

琉球コラソンが嬉しいリーグ初勝利!!

そのほかの4試合も白熱した攻防を展開。琉球コラソンが豊田合成から開幕7戦目にして嬉しいリーグ初勝利をマークした。この試合、前半終了間際に水野裕紀の得点で19-18と勝ち越した琉球が、後半に入り村山、高田の得点で10分26-23とリード。その後、琉球は1点差まで詰め寄せられたものの、合成の連続退場に乗じて22分32-29と主導権をキープ、12得点をマークしたエース村山の奮闘もあってそのまま逃げ切った。トヨタ自動車-トヨタ紡織九州戦は、高い位置から積極的にプレッシャーをかける紡織ディフェンスが機能し始めた5分過ぎあたりから、紡織の躍動感あふれる速攻が次々と決まり、前半13分10-4と紡織が先行。その後もテンポ良く試合を運んだ紡織が37-22で快勝した。北陸電力-Honda戦は、HondaがG K四方の巧みなセーブなどで17-11と先行して前半終了。北電もホームの意地を見せて後半10分過ぎから神田、前田らのシュートでジリジリと差を詰め、高橋のサイドなどで21分25-26と肉薄。その後は両チーム必死の攻防で予断を許さなかったが、北電は終了間際の同点とすべき速攻チャンスで手痛いファンブル。そのボールを持ち込んだHonda・柳本がシュートを決めてタイムアップとなった。

ソニーセミコンダクタ九州-三重バイオレットアイリス戦は、G K浅井の好セーブが光る三重が後半出だしの2連打で16-10と6点リード。しかし、4分過ぎからソニーが猛反撃。12分までに2度の5連取で一気に形勢逆転すると、その後は谷口の失格(3回目の退場)もあってベースダウンした三重に対して次々と集中打を浴びせかけ、後半は23-8と一方的な展開に持ち込んだ。

次週、ダブルヘッダーで第1クール終了となる男子は、紡織が3位を併走するトヨタ車体、2位の湧永製薬と対戦する2試合に注目。女子はオムロン-ソニーの激突がハイライトに。

◆ 10月25日(土) 男子 福井・北陸電力福井体育館フレア			◆ 10月25日(土) 男子 愛知・知立市福祉体育館			◆ 10月25日(土) 男子 愛知・知立市福祉体育館		
Honda 29 (17-11) 27 北陸電力 2勝0分5敗 12-16 2勝0分5敗			琉球 コラソン 35 (19-18) 34 豊田合成 1勝0分6敗 16-16 2勝0分5敗			トヨタ車体 32 (16-15) 30 大崎電気 5勝0分2敗 16-15 4勝1分2敗		
2/ 3 中 谷 西 田 K 4/ 7 鶴 見 高 橋 2/ 4 4/ 4 4/ 5 柳 本 神 田 8/14 0/ 0 河 瀬 落 合 1/ 1 6/11 竹 田 桜 井 5/ 6 4/5 4/ 9 横 地 前 田 4/12 0/ 0 伊 藤 高 田 0/ 0 <0/2> K 吉 村 杉 山 2/ 4 0/ 0 瀬 元 大 谷 0/ 0 5/ 6 野 嶋 山 原 0/ 3 0/ 0 高 木 亀 田 0/ 0 <1/2> K 兼 浦 丸 山 K <0/1> <0/1> K 四 方 石 塚 1/ 1 有 江 K <0/3>			0/ 0 久 高 大 立 K <0/1> 3/ 4 9/11 村 山 原 0/ 0 0/ 0 棚 原 大 橋 2/ 5 0/ 0 積 桶 谷 1/ 1 0/ 0 池 田 加 藤 1/ 2 5/ 9 志慶真 大 植 2/ 2 <0/2> K 内 田 渡久山 6/10 3/3 0/ 0 水野矢 今 村 7/12 1/ 2 内 山 中 村 7/10 5/10 田 場 芳 仲 0/ 0 7/13 高 田 藤 堂 K <1/3> <0/1> K 石 田 米 本 2/ 3 5/ 9 水野紀 畠 中 3/ 8 田 形 0/ 0			K 木 下 浦 和 K 0/1 2/ 2 田 中 小 澤 0/ 0 0/ 0 佐々木 前 田 5/ 9 6/10 高 智 中 川 2/ 4 0/ 0 安 藤 永 島 0/ 4 1/ 3 藤 田 太 田 0/ 0 3/ 5 北 出 酒 井 0/ 0 <1/2> K 田 平 濱 口 K <1/1> 1/ 1 小 沢 岩 永 1/ 6 1/1 6/ 9 鶴 谷 東俊介 3/ 4 3/ 5 香 川 秋 山 0/ 0 7/11 崎 前 内 田 6/ 9 2/ 4 銘 莉 猪 妻 4/ 5 0/1 1/ 5 門 山 宮 崎 8/16		
4/ 4 25/41 12(FPP)3 23/45 4/5 審判(岩上・山口) 観客 410人			3/ 4 32/54 22(FPP)14 31/53 3/3 審判(藤井・大熨) 観客 452人			0/ 1 32/55 5(FPP)11 29/57 1/2 審判(池淵・檜崎) 観客 1216人		



大同特殊鋼

フェニックスファミリーに夢と希望を!!

フェニックスには、弟的存在のチームがファミリーとして共にがんばっています。指導しているのはフェニックスのOBでハンドボールを通じて熱い情熱を子供達に注ぎ込んでいます。

東海ハンドボールスクール(小学生)は、開設から10年が経ち、愛知県東海市を中心に多くの子供達にハンドボールを教えてきました。今では全国でも有数の強豪チームに成長しています(写真は記念イベントでの写真)。

また、同東海市のハンドボール部のある中学校にも訪問し、ハンドボールの技術指導を行っています。東海市の中学校は先日、姉妹都市提携している「トルコ」にハンドボールの交流を目的に訪問しました。

やはり、体格の差が大きく不利かと思われましたが、フ

ェニックスのモットー「スピードハンドボール」で熱戦を繰り広げてくれたようです。

ホームの試合では、ファミリーがみな集まって応援し、フェニックスに大きな力を与えてくれています。私達はOBの皆さんの情熱、そして、多くの子供達にハンドボールを通じて夢や希望をもってもらえるチームに成長できるよう、一丸となってリーグ4連覇に向けて突っ走ります。



◆ 10月25日(土) 女子 愛知・ブラザー工業体育館	◆ 10月25日(土) 男子 愛知・ブラザー工業体育館	◆ 10月26日(日) 女子 石川・小松総合体育館
オムロン 36 (17-7) 14 H C名古屋 6勝1分0敗 0勝0分7敗	トヨタ紡織 37 (19-11) 22 トヨタ自動車 5勝0分2敗 1勝0分6敗	北國銀行 28 (16-7) 14 広島メイプル 5勝1分1敗 2勝0分5敗
K 勝田 近藤 K <0/1> 3/7 城内 池田 1/2 1/4 安心院 泉 0/0 3/3 巻 佐藤 5/15 1/2 1/1 西本 高橋瑛 0/7 2/2 0/0 吉田祥 鈴木 0/3 8/11 佐久川 菅谷 3/11 0/1 1/1 坂元 高橋玲 3/4 3/6 久野 家城 K <0/1> 5/8 洪廷昊 秋山 1/1 <2/3> K 藤間 徳永 K 3/4 高田 0/2 市村 6/12 東濱	<0/3> K 松野 増田 K 4/7 中嶋 坂口 5/6 1/2 西端 岩田 0/2 3/7 松信 栗崎 5/7 5/6 村上秀 小林 0/1 1/4 呉相民 多和田 4/6 2/7 佐久間 倉田 2/6 3/4 海道 佐藤 K 0/0 阪 澤田 0/0 0/1 5/5 藤本 成田 0/0 3/6 鈴木 出會 0/1 3/3 4/5 藤山 稲本 K <1/4> 3/4 泉原 光増 2/6 福田 1/5 3/3	<2/3> K 下地 堂面 K <1/1> 0/1 7/10 上町 土屋 1/3 1/3 宮前 樹山 1/3 0/0 川井 青戸 0/0 2/3 小野澤 大前 2/6 9/13 横嶋 植垣 1/1 0/1 2/7 野路良 李 0/4 1/1 2/8 武井 菅野 0/2 <1/1> K 田代 坪井 0/1 3/3 仲宗根 伊藤 1/1 0/0 野路里 坂口 1/2 K 大澤 安齋 5/6 0/0 八十島 石山 0/0 2/3 若松 新城 1/5 0/2
2/2 34/59 3(FPP)3 13/43 1/3 審判(北嶋・比留間) 観客 520人	3/4 34/57 9(FPP)15 19/40 3/3 審判(多田・中館) 観客 350人	0/1 28/50 6(FPP)13 13/34 1/4 審判(岩上・山口) 観客 1062人
◆ 10月26日(日) 女子 長崎・シーハット大村	◆ 10月26日(日) 男子 長崎・シーハット大村	選手・スタッフ登録情報
ユニセコナタ 33 (10-14) 22 三重バイオレット 5勝0分2敗 2勝0分5敗	大同特殊鋼 27 (13-12) 23 湧永製薬 7勝0分0敗 5勝1分1敗	◇広島メイプルレッズ 16 横田智恵美 1989.06.07 170cm65kg 右 聖和学園高→宮城ケヤキーズ 出場可能日：2008/11/01
<0/1> K 中島 浅井 K <2/3> 1/1 9/15 郭恵静 横川 2/5 0/1 長野 桂 3/6 2/3 工藤 宮下 3/6 5/7 亀山 竹上 0/2 0/1 6/7 高栖 谷口 1/1 <0/2> K 飛田 北村 0/0 1/3 3/4 樋口 伏見 0/2 3/3 0/0 佐師 橋本 1/9 1/1 飯田 野中 0/0 <1/1> K 南 毛利 K <0/1> 2/2 東 星野 5/6 1/1 川口 伊藤 4/11 2/5 金城 森田 K	3/5 末松 志水 K <1/1> 0/0 浦田 坂本 1/1 0/0 富田 0/0 0/1 0/1 4/6 地引 山中 0/0 5/13 武田 福田 3/6 3/4 大田 吉田 0/0 <1/2> K 高木 名嘉 1/1 3/6 李才佑 東 5/11 2/2 千々波 坪根 K 0/3 山城 新 4/5 K 東 武藤 4/4 2/4 白元 詰松村 K 0/0 松永 古家 2/6 5/6 渡久川 東長濱 2/12 1/1	◇H C名古屋 15 藤島 あみ 1988.07.16 155cm48kg 右 延岡東H Bクラブ→延岡中→宮崎学園 高→名古屋ウエルネススポーツカレッジ 17 松本 美明 1988.10.20 164cm56kg 右 朝明中→四日市商高→名古屋ウエル ネススポーツカレッジ 18 生川 美佳 1988.07.22 163cm60kg 右 鈴鹿H Bスクール→白子中→四日市商 高→名古屋ウエルネススポーツカレッジ 19 秋山 絵奈 1989.10.25 167cm48kg 左 静岡城北高→名古屋ウエルネススポ ーツカレッジ 出場可能日：2008/11/01
2/4 31/46 4(FPP)24 19/48 3/4 審判(金子・児玉) 観客 1013人	0/1 27/49 3(FPP)7 22/46 1/2 審判(家永・福島) 観客 1153人	



三重バイオレットアイリス

「ファンの応援を力に」

今年で日本リーグ参戦3年目を迎えた「三重バイオレットアイリス」。今年のチーム目標は「プレーオフ出場!」。

その目標に向かうに当たって、欠かせないのがファンの皆さんの応援です!!

チームがリーグ参戦した3年前に立ち上げた「花菖蒲ファンクラブ」も会員数は600名ほどに増えました。会員は選手所属企業の方や地元ファンの方をはじめ、中にはメールや電話で遠方より申し込んでくれる方も! 本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

ファンクラブでは年に一度「ファン感謝デー」を行い、ファンの皆さんとの交流を深めます。今年8月に実施した「ファン感謝デー」では、皆さんと一緒に松阪牛のバーベキューや、選手が愛情を込めて握った大小さまざまなおにぎり、監督・コーチ特製やきそばでおなかいっぱいになったところで、選手が企画したゲーム大会で盛り上がり、最後に参加者全員で「MVI」の人文字を作ったの記念撮影と、楽しい時間を過ごしました。

いつもはスタンドから聞こえる応援の声を直接聞くことができ、

ファンの皆さんの温かさを実感! そんな温かいファンの皆さんの応援が、私たち「三重バイオレットアイリス」のパワーの源です。そのパワーで、今度は私たちが試合で勝利を掴み取るよう頑張ります!! これからも応援よろしくをお願いします!!



男女個人賞レース 第7週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 末 松 誠 (大同特殊鋼)	55 点	(7試合)	1 上 町 史織 (北 國 銀 行)	62 点	(7試合)
2 村 山 裕次 (琉球コラソン)	50 点	(7試合)	2 郭 惠 静 (ソ ニ ー)	55 点	(7試合)
3 宮 崎 大輔 (大 崎 電 気)	47 点	(7試合)	3 佐久川 ひとみ (オ ム ロ ン)	36 点	(7試合)
4 中 畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	42 点	(7試合)	4 横嶋 かおる (北 國 銀 行)	34 点	(7試合)
4 柳 本 義文 (Honda)	42 点	(7試合)	4 東 濱 裕子 (オ ム ロ ン)	34 点	(7試合)
6 竹 田 寛明 (Honda)	39 点	(7試合)	6 樋 口 真央 (ソ ニ ー)	33 点	(7試合)
7 内 田 雄士 (大 崎 電 気)	38 点	(7試合)	6 洪 廷 昊 (オ ム ロ ン)	33 点	(7試合)
7 中 村 晃己 (豊田合成)	38 点	(7試合)	8 城 内 真紀 (オ ム ロ ン)	31 点	(7試合)
7 新 建 二 (湧永製薬)	38 点	(7試合)	8 高 栖 由香 (ソ ニ ー)	31 点	(7試合)
10 門 山 哲也 (トヨタ車体)	37 点	(7試合)	8 佐藤 由紀恵 (H C 名古屋)	31 点	(7試合)
10 東長濱 秀作 (湧永製薬)	37 点	(7試合)	11 菅 野 喜恵 (メイプルレッズ)	30 点	(7試合)
12 光 増 由矢 (トヨタ自動車)	36 点	(7試合)	12 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	28 点	(7試合)
13 鶴 見 拓 (Honda)	33 点	(7試合)	12 藤 井 紫緒 (オ ム ロ ン)	28 点	(6試合)
13 神 田 友和 (北陸電力)	33 点	(7試合)	12 李 キョンミン (メイプルレッズ)	28 点	(7試合)
15 東 慶 一 (湧永製薬)	32 点	(7試合)	12 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	28 点	(7試合)
15 高 智 海吏 (トヨタ車体)	32 点	(7試合)			
15 大 橋 隆之 (豊田合成)	32 点	(7試合)			

フィールド得点賞

1 末 松 誠 (大同特殊鋼)	49 点	(7試合)	1 郭 惠 静 (ソ ニ ー)	53 点	(7試合)
2 宮 崎 大輔 (大 崎 電 気)	47 点	(7試合)	2 上 町 史織 (北 國 銀 行)	38 点	(7試合)
3 中 畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	42 点	(7試合)	3 佐久川 ひとみ (オ ム ロ ン)	35 点	(7試合)
4 中 村 晃己 (豊田合成)	38 点	(7試合)	4 横嶋 かおる (北 國 銀 行)	34 点	(7試合)
4 新 建 二 (湧永製薬)	38 点	(7試合)	4 東 濱 裕子 (オ ム ロ ン)	34 点	(7試合)
6 内 田 雄士 (大 崎 電 気)	37 点	(7試合)	6 洪 廷 昊 (オ ム ロ ン)	32 点	(7試合)
6 門 山 哲也 (トヨタ車体)	37 点	(7試合)	7 城 内 真紀 (オ ム ロ ン)	31 点	(7試合)
8 光 増 由矢 (トヨタ自動車)	36 点	(7試合)	7 高 栖 由香 (ソ ニ ー)	31 点	(7試合)
8 竹 田 寛明 (Honda)	36 点	(7試合)	9 菅 野 喜恵 (メイプルレッズ)	30 点	(7試合)
10 村 山 裕次 (琉球コラソン)	34 点	(7試合)	10 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	28 点	(7試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 内 田 雄士 (大 崎 電 気)	37点/ 48射 0.771	1 横嶋 かおる (北 國 銀 行)	34点/ 45射 0.756
2 中 村 晃己 (豊田合成)	38点/ 51射 0.745	2 佐久川 ひとみ (オ ム ロ ン)	35点/ 47射 0.745
3 末 松 誠 (大同特殊鋼)	49点/ 72射 0.681	3 城 内 真紀 (オ ム ロ ン)	31点/ 42射 0.738
4 中 畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	42点/ 63射 0.667	4 高 栖 由香 (ソ ニ ー)	31点/ 46射 0.674
5 新 建 二 (湧永製薬)	38点/ 60射 0.633	5 洪 廷 昊 (オ ム ロ ン)	32点/ 55射 0.582

7mスロー得点賞

1 村 山 裕次 (琉球コラソン)	16 点	(7試合)	1 上 町 史織 (北 國 銀 行)	24 点	(7試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成)	14 点	(7試合)	2 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	19 点	(7試合)
3 藤 山 岳士 (トヨタ紡織九州)	11 点	(6試合)	3 樋 口 真央 (ソ ニ ー)	15 点	(7試合)
4 福 田 拓馬 (トヨタ自動車)	10 点	(7試合)	3 吉 田 祥子 (オ ム ロ ン)	15 点	(5試合)
4 柳 本 義文 (Honda)	10 点	(7試合)	5 菅 谷 美奈 (H C 名古屋)	9 点	(7試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 兼 浦 裕也 (Honda)	4本/ 7射 0.571	1 田代 ひろみ (北 國 銀 行)	7本/ 15射 0.467
2 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	8本/ 16射 0.500	2 藤間 かおり (オ ム ロ ン)	6本/ 17射 0.353
2 高 木 尚 (大同特殊鋼)	6本/ 12射 0.500	3 近 藤 澄江 (H C 名古屋)	5本/ 20射 0.250
4 藤 堂 聖二 (豊田合成)	5本/ 11射 0.455	4 堂 面 妙子 (メイプルレッズ)	6本/ 26射 0.231
5 東 佑 三 (大 崎 電 気)	4本/ 12射 0.333	4 毛 利 久美 (バイオレットアイリス)	3本/ 13射 0.231
		4 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	3本/ 13射 0.231

第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第7週終了 10月26日

順位	男子	大同特殊鋼	湧永製薬	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	大崎電気	Honda	北陸電力	豊田合成	トヨタ自動車	琉球コラソン	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		27 ○ 23	32 ○ 20	38 ○ 18	30 ○ 21	27 ○ 23	41 ○ 25		39 ○ 23		7	7	0	0	14	234	153	81
2	湧永製薬	23 ● 27		29 ○ 28		27 △ 27	28 ○ 21	32 ○ 18	39 ○ 20		35 ○ 25	7	5	1	1	11	213	166	47
3	トヨタ車体	20 ● 32	28 ● 29			32 ○ 30	36 ○ 27		43 ○ 28	37 ○ 21	32 ○ 21	7	5	0	2	10	228	188	40
4	トヨタ紡織九州	18 ● 38				28 ● 33	28 ○ 25	38 ○ 32	38 ○ 19	37 ○ 22	35 ○ 19	7	5	0	2	10	222	188	34
5	大崎電気	21 ● 30	27 △ 27	30 ● 32	33 ○ 28			33 ○ 21		43 ○ 23	49 ○ 22	7	4	1	2	9	236	183	53
6	H o n d a	23 ● 27	21 ● 28	27 ● 36	25 ● 28			29 ○ 27	27 ● 28		36 ○ 26	7	2	0	5	4	188	200	-12
7	北陸電力	25 ● 41	18 ● 32		32 ● 38	21 ● 33	27 ● 29		29 ○ 27	23 ○ 22		7	2	0	5	4	175	222	-47
8	豊田合成		20 ● 39	28 ● 43	19 ● 38		28 ○ 27	27 ● 29		31 ○ 19	34 ● 35	7	2	0	5	4	187	230	-43
9	トヨタ自動車	23 ● 39		21 ● 37	22 ● 37	23 ● 43		22 ● 23	19 ● 31		35 ○ 32	7	1	0	6	2	165	242	-77
10	琉球コラソン		25 ● 35	21 ● 32	19 ● 35	22 ● 49	26 ● 36		35 ○ 34	32 ● 35		7	1	0	6	2	180	256	-76

順位	女子	オムロン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		22 △ 22	30 ○ 27	31 34 ○ ○ 22 21	33 ○ 18	36 36 ○ ○ 12 14	7	6	1	0	13	222	136	86
2	北國銀行	22 △ 22		23 22 ○ ● 21 25	29 28 ○ ○ 21 14	28 ○ 18	38 ○ 14	7	5	1	1	11	190	135	55
3	ソニーセミコンダクタ九州	27 ● 30	21 25 ● ○ 23 22		34 ○ 21	26 33 ○ ○ 21 22	34 ○ 17	7	5	0	2	10	200	156	44
4	広島メイプルレッズ	22 21 ● ● 31 34	21 14 ● ● 29 28	21 ● 34		22 ○ 16	37 ○ 22	7	2	0	5	4	158	194	-36
5	三重バイオレットアイリス	18 ● 33	18 ● 28	21 22 ● ● 26 33	16 ● 22		26 26 ○ ○ 19 21	7	2	0	5	4	147	182	-35
6	H C 名 古 屋	12 14 ● ● 36 36	14 ● 38	17 ● 34	22 ● 37	19 21 ● ● 26 26		7	0	0	7	0	119	233	-114

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。